

登録コード:MH185200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	成人臨床看護論【22M以降】 Adult Clinical Nursing		
担当教員	新井 清美 他 岡島 志野・北條 由美乃・今井 美佳・笠原 邑斗・近藤 協子		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/2年 後期 水曜・1時限 水曜・2時限		
単位数、講義室	2単位	保健学科311講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	健康障害を及ぼす状況、病態、症状、検査、治療の一連の流れと関連付け、急性期から回復期、慢性期にある対象と家族に対して看護を実践するために必要な知識・技術・態度を学ぶことを目的とします。 本授業は、1年次に学んだ「人体の構造と機能（解剖学）」、「人体の構造と機能（生理学）」、「人体の構造と機能（症候学）」、2年次前期に学んだ「成人看護健康論（内科学）」、「成人看護学概論」の知識を前提とし、2年次後期に開講中の「成人看護健康論（外科学）」の知識を活用して学んでいきます。並びに、本授業は、3年次前期に開講する「成人看護方法論」の重要な基礎知識となります。 本授業は、成人期にある対象の理解において、男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業は、担当教員の医療機関における看護師としての実務経験を活かして講義を行います。		
授業計画	第1回（9月30日1限）オリエンテーション（新井） 周手術期看護：術前・術中の看護（ゲスト講師予定） 第2回（9月30日2限）周手術期看護：術後の看護（岡島） 第3回（10月7日1限）内分泌・代謝系に障害のある患者の看護： 糖尿病患者の看護過程：アセスメント・関連図 （グループワーク）（新井、准教授、岡島、北條、笠原、今井） 第4回（10月7日2限）糖尿病患者の看護過程：アセスメント・関連図 （グループワーク）（新井、准教授、岡島、北條、笠原、今井） 第5回（10月21日1限）糖尿病患者の看護過程：関連図・問題リスト （グループワーク）（新井、准教授、岡島、北條、笠原、今井） 第6回（10月21日2限）糖尿病患者の看護過程：関連図・問題リスト （グループワーク）（新井、准教授、岡島、北條、笠原、今井） 第7回（10月28日1限）がん薬物療法、放射線療法を受ける患者の看護（ゲスト講師予定） 第8回（10月28日2限）消化器系に障害のある患者の看護：胃がん・食道がん （グループワーク）（准教授、岡島、北條、笠原、今井、新井） 第9回（11月4日1限）消化器系に障害のある患者の看護：胃がん・食道がん （発表、まとめ）（准教授、岡島、北條、笠原、今井、新井） 第10回（11月4日2限）腎臓に障害のある患者の看護：腎不全 （グループワーク）（笠原、准教授、岡島、北條、今井、新井） 第11回（11月11日1限）腎臓に障害のある患者の看護：腎不全 （発表、まとめ）（笠原、准教授、岡島、北條、今井、新井） 第12回（11月11日2限）泌尿器系に障害のある患者の看護：膀胱、前立腺（笠原） 第13回（11月18日1限）ストーマのある患者の看護（ゲスト講師予定） 第14回（11月18日2限）呼吸器系に障害のある患者の看護：肺がん （グループワーク）（岡島、准教授、北條、笠原、今井、新井） 第15回（11月25日1限）呼吸器系に障害のある患者の看護：間質性肺疾患 （グループワーク）（岡島、准教授、北條、笠原、今井、新井） 第16回（11月25日2限）乳がん・女性生殖器疾患患者の看護（担当者未定） 第17回（12月2日1限）呼吸器系に障害のある患者の看護：慢性閉塞性肺疾患 （グループワーク）（岡島、准教授、北條、笠原、今井、新井） 第18回（12月2日2限）呼吸器系に障害のある患者の看護（ゲスト講師予定） 第19回（12月9日1限）アレルギー・自己免疫疾患患者の看護（新井） 第20回（12月9日2限）循環器系に障害のある患者の看護：心不全 （グループワーク）（北條、准教授、岡島、笠原、今井、新井） 第21回（12月16日1限）循環器系に障害のある患者の看護：心不全 （グループワーク）（北條、准教授、岡島、笠原、今井、新井） 第22回（12月23日1限）循環器系に障害のある患者の看護：心不全 （発表、まとめ）（北條、准教授、岡島、笠原、今井、新井）		

授業計画	第23回(12月23日2限) 循環器系に障害のある患者の看護 (心不全、弁膜症、虚血性心疾患、不整脈)(ゲスト講師予定) 授業アンケートの実施 第24回(1月6日1限) 期末試験(筆記) * 講義日程や内容、順番を変更することがあります。
授業の進め方	本授業は、能動学修による理解を深めるために、グループワークを中心に展開していきます。グループワークでは、事前の自己学習を基にディスカッションを行い資料をまとめ、プレゼンテーションにより理解を深めていきます。意欲的に能動学修に取り組んでください。取り組んだ課題は提出していただきます。講義の際には、講義中や講義後に確認テスト等を行う場合があります。 指定テキストと配布資料、視聴覚教材等も活用しながら進めていきます。 配布資料は原則としてeALPSにアップロードします。各自でダウンロード・印刷し持参してください。 各回のリアクションフォームは、出席者が授業での学び等をeALPS上の所定のフォームに入力します。
テキスト、教材、参考書	<テキスト> * 成人看護学概論で用いた以下のテキストを引き続き使用します。 ・ナースング・グラフィカ 成人看護学 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 第2版 メディカ出版 * 成人看護健康論 (内科学)、(外科学)、看護方法論 で使用した以下のテキストを引き続き使用します。 ・なるほどなっとく! 内科学 改訂3版 南山堂 ・臨床外科看護総論 第12版 医学書院 ・臨床外科看護各論 第10版 医学書院 ・ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 第6版 ニューヴェルヒロカワ その他、適宜参考書および視聴覚教材を紹介します。
成績評価の方法	期末試験(筆記)、個人課題およびグループワーク課題に基づき成績を評価します。 総合的評価の配分は筆記試験60%、各回のリアクションフォームへの入力10%、課題提出30%(個人課題20%・グループワーク課題10%)とし、総合点を100点とした場合の60%以上を合格とします。 期末試験(筆記)では、健康障害を及ぼす機序と病態・症状・検査・治療や対象の特徴、身体・心理・社会面への影響、健康レベルに応じた看護についての理解度を確認します。 個人課題およびグループワーク課題では、提出期限の遵守、課題の達成度、参加度と参加態度によって評価します。 リアクションフォームへの入力がない場合は、その回の配点を0点とします。
成績評価の基準	期末試験(筆記)では、授業で示した内容と同じ水準の問題が解ければ「水準にある(可)」、応用問題が解ければ「やや上にある(良)」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある(優)」、授業内容よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している(秀)」と判定します。 個人課題およびグループワーク課題では、求められた課題で到達してほしい水準に「不足(可)」、「やや不足(良)」、「求められた水準(優)」、「優れている(秀)」として評価します。 総合的評価の判定基準は、下記の通りとします。 90-100点(%) : 秀 80-89点(%) : 優 70-79点(%) : 良 60-69点(%) : 可
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業の終わりに、次回までに学習すべき内容を説明します。グループワークでは、各自、指定された内容について既習の知識を基に発展的に調べて授業に臨んでください。個人の学習内容を基にディスカッションしていきます。 【事後学習について】 授業で提示された課題に取り組み、次回の授業に臨んでください。 グループワークでは、個人あるいはグループでディスカッションのまとめを行い、発表の準備をして次の授業に臨んでください。また、授業時間にもらったコメントを基に振り返りを行い、内容を深めて下さい。追加の課題を提示することがあります。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間46時間(2時間×23回)+自己学習時間44時間(2時間×22回)=90時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	看護実践につながる重要な授業になりますので、主体的な取り組みを期待しています。 質問への対応：新井清美 k_arai@shinshu-u.ac.jp または各回の担当教員 岡島志野 okajimas@shinshu-u.ac.jp 北條由美乃 yhojo@shinshu-u.ac.jp 笠原邑斗 y_kasahara@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時(要事前連絡)